



とちぎ  
プラス  
ワン

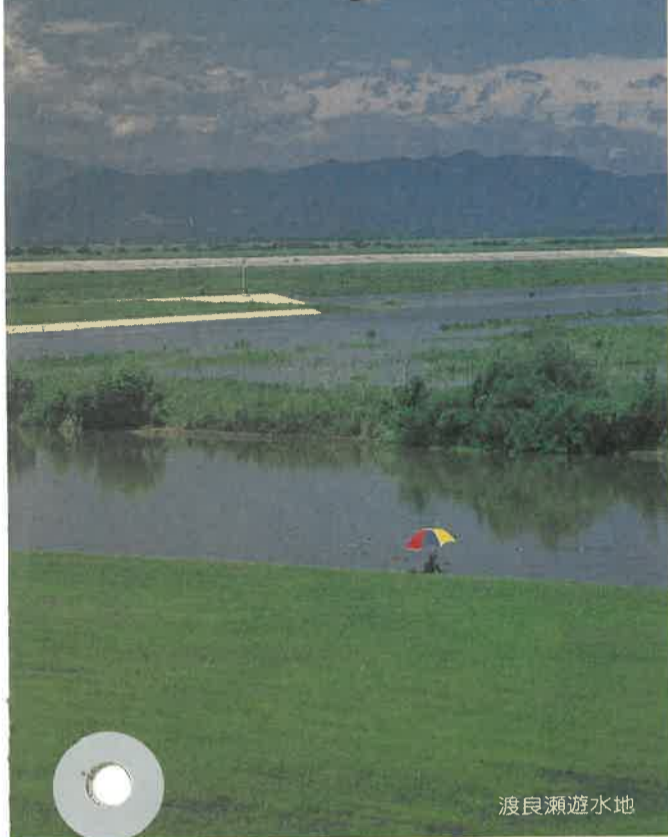


## イメージ アップ 作戦開始

『日光は知ってるけど、何県だったかな?』などと言われては、と「栃木県」のイメージアップを図るため、県ではイメージアップ作戦を展開しています。

民間から多面的な意見を出していただこうと設置した栃木県イメージアップ懇話会から、1年間の検討の結果「とちぎプラス1(ワン)」をメインテーマとする提言をいただき、県は今年、とちぎの「イメージアップ元年」を宣言しました。

# 「元年」宣言



渡良瀬遊水地

## 今、なぜイメージアップか？

私たちの郷土、栃木県は、豊かで美しい自然をはじめとして、長い歴史や伝統によって培われた優れた文化遺産、民俗文化財など、県民の共有の財産として、全国に誇れるたくさんの魅力を持っています。

また、近年では、高度技術を駆使するいわゆるハイテク企業の誘致や、交通網の整備も進み、北関東の中核を担う産業県として、着実な発展を遂げています。

しかしながら、栃木県に対する認識は、県外の人のみならず、私たち県民自身の中でも、必ずしも十分ではないのが現状で、栃木県の良さが正しく評価されているとは言えません。

ややもすれば、『どこにあるのか栃木県』などと言われるほど、イメージが薄く、その特徴のなさが指摘されています。

また、首都圏という恵まれた地理的条件にありながら、『遠くて不便な県』というイメージを持たれているように、県の実態とイメージとの間には、大きなギャップが生じているのです。

県では、こうしたギャップをひとつひとつ解消し、従来からの良いイメージを継承しながら、さらに、新しい時代に応えられる、誰もが誇れる「栃木県像」を確立しようと、イメージアップ作戦に乗り出したのです。

## 栃木県の「顔」は何？

ところで、「栃木県」というと、どんなイメージを描かれるのでしょうか。

誰でも、まず思い浮かべるのは「日光」、それから、「かんびょう」「益子焼」「自然」「観光地」、などといったところではないでしょうか。

改めて考えてみると、絶対にこれと言えど強い印象を持つものは意外と少ないことがわかります。

全国一の生産を誇る「いちご」でさえ、すぐに思い浮かぶ人はなかなかいないものです。

そして、これを県外の人にたずねてみたならばどうでしょうか。県民の皆さん以上に答えはむしろ少しくなります。

そうです。結果は、「具体的なイメージが希薄な県」「個性に乏しい県」、と特徴のなさを指摘されることになり、マイナスイメージは少なくありません。

「えっ、そんな。」、栃木県にはたくさんいいものがあるのに、とは思いませんか。そのマイナスイメージの原因は、いったい何なのでしょうか。

ひとつには、私たち県民でさえも、栃木県の良さを正しく認識していないということではないでしょうか。そこに住む人にとっては、あまりに身近であるために、その良さを気づかずに過ごしてしまうことがあるのではないのでしょうか。

こうした意味からも、イメージアップの第一歩として、県民の皆さんにもう一度、ふるさと栃木を見直していただき、その良さを再発見、再認識していただくことと、「県民の日」(六月十五日)を制定しました。

これまで、県央、県南でそれぞ

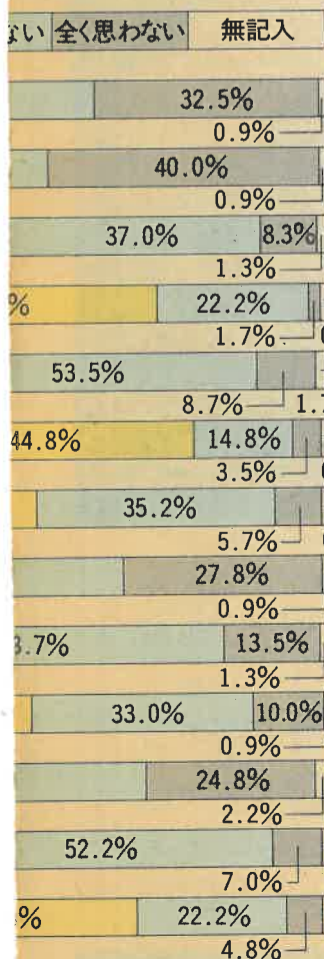
域の輪を着実に拡げてきています。そして今年も、県北、矢板市をメイン会場に「六月十五日」に近い土・日という日と、六月十一日(十二日にイベントを行うこと)にしています。

さらに、昨年十一月、東京での「リゾートフォーラムとちぎ」に続き、今年五月に、新宿副都心で開催予定の「やすらぎの栃木路'88マロニエフェスティバル(仮称)」や、九月に宇都宮市で開催する「食と緑の博覧会——イートピアとちぎ'88」などは、栃木県の姿を県外の人にも、もっと知っていただき、新しい栃木県のイメージを創る絶好の機会になるものと考えられます。

そして実はこれに加えて、県のイメージアップを図るうえで、たいへん強力な提言をいただいているのです。



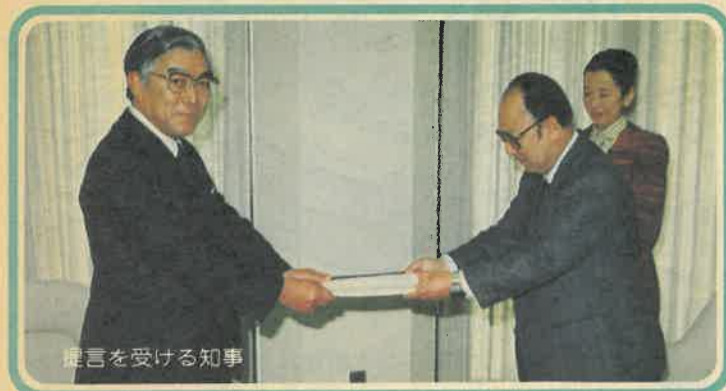
## イメージは？



## ● 栃木県の顔と思われるものは？ (県外イメージ調査から)

	顔と思う	顔と知らない	わからない	無記入
a. 宇都宮	73.5%	17.0%	7.4%	2.2%
b. 足尾	21.3%	40.0%	33.9%	4.8%
c. 日光	92.2%	6.1%	1.7%	0%
d. 那須	63.0%	20.0%	13.5%	3.5%
e. 益子焼	46.5%	17.0%	32.6%	3.9%
f. かんびょう	33.9%	26.1%	37.0%	3.0%
g. いちご	9.1%	47.0%	40.9%	3.0%
h. 繊維製品	9.1%	41.3%	45.2%	4.3%
i. カミナリ	19.6%	38.7%	38.3%	3.5%
j. 足利学校	36.5%	26.1%	32.6%	4.8%
k. 大谷石	23.9%	23.9%	48.7%	3.5%
l. 鬼怒川	76.1%	10.4%	11.7%	1.7%
m. 五十里ダム	27.4%	60.9%	7.0%	4.8%

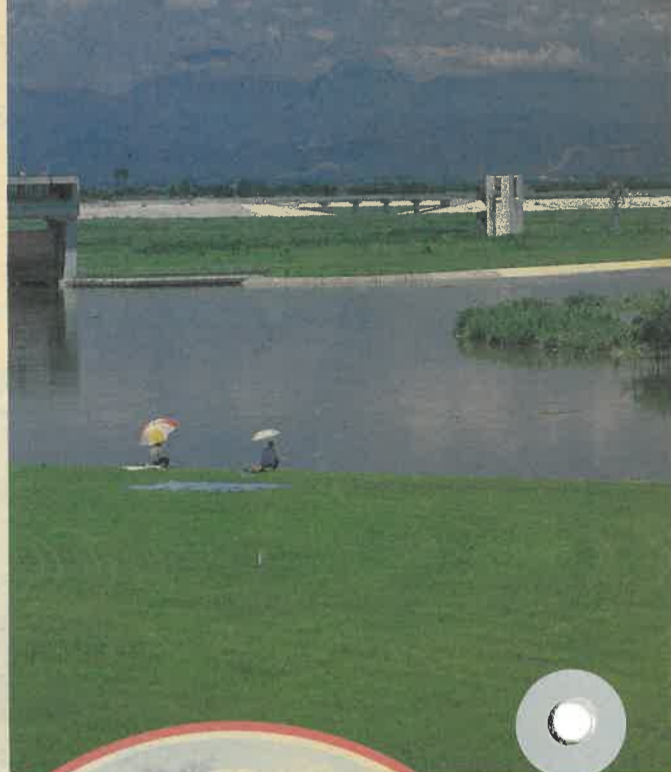
# 「イメージアップ」



提言を受ける知事

## 一人ひとりの参加を

県では昨年来、県のイメージアップについて、民間からの多面的な意見を出していただこうと、各界で活躍される十七名の方々に「集まりいただき、栃木県イメージアップ懇話会」を発足し、活発な御討議をいただいております。その結果として、「とちぎプラス1」(ワン)をメインテーマとする九十の具体的なアイデアを提言いただきました。



「とちぎプラス1」には二つの意味がある。

栃木県の現状のイメージに満足するのではなく、もっと積極的に新しいイメージを創造していこう。

イメージアップの主役は県民の一人ひとりである。

提言は、イメージテーマとして「やすらぎの大地」など十のサブテーマを設け、さらにテーマごとに「自然に感謝の水源祭を開催する」など九つずつの具体的なアイデアがあげられています。ところで、各提言は九つずつ、計九十。これは、残りの一つずつは県民の皆さん一人ひとりに考えていただき、イメージアップに参加していただきたいという願いをこめて、と県民主役の「プラス1」を提言しています。

## 生きるために

### 環境

#### やすらぎの大地

- 水の恵みに感謝し、首都圏の水ガメをアピールする水源祭の開催
- カーキャンプ場、キャンピングロードを整備など人々にやすらぎを提供する県

#### 広がるネットワーク

- 文化遺産めぐり等県内周遊ルートの整備
- 高速道路の各出口にガイドサービス所を設置など首都圏の便利な県

### 人間

#### 身体にウェルネス

- 長期滞在型の温泉設備の充実
- 森林浴コースの整備など身体の健康に心を配る県

#### 心にフィットネス

- 子供の自立心を養うサマーキャンプ場子供王国の創設
- 川の流れに親しめる憩いの場の整備など心の健康を大切にする県

## 豊かさのために

### 生産

#### 時を織る工作室

- 外国人によるかんぴょう料理コンテストの実施
- 総合伝統工芸センターの建設など伝統ある資産を守る県

#### 知恵のマジック

- 宇宙時代を楽しむスターウォーズ・スタジオの設立
- ハイテク工業団地のアピールなど未来に向かうハイテク産業県

### 生活

#### ふるさとルネッサンス

- 方言の良さを見直す弁論大会
- ふるさとが近くなる祭りの復活など県民が愛着と誇りを感じる県

#### ときめきの出会い

- 各国語を使える人材の発掘・育成
- 県ゆかりのポストカードの作成など積極的なコミュニケーションをする県

## 美しさのために

### 文化

#### 新しさへの挑戦

- 海のない栃木の森で船上生活を体験
- 100haのコンベンションパークの建設など新しいことに挑戦する県

#### いまを大切に

- 空の散歩、気球競技大会の開催
- 古墳や遺跡を結ぶルートの整備など気品とゆとりを大切にする県



地域の特色を生かした「県民の日」の記念イベントを開催し、地

## ●栃木県らしさを表現している具体的な

	非常に思う	かなり思う	あまり
a. 身近な感じがして親しみやすい県	10.4%	53.0%	3.0%
b. いつかゆとりのある生活をしてみたい県	2.6%	50.9%	5.7%
c. 個性に乏しい県	20.9%	32.6%	
d. 自然が美しくて豊かな県	25.2%	50.0%	
e. 特産品が豊富な農業県	7.8%	28.3%	
f. 観光と温泉に恵まれている県	36.1%		
g. 北関東にあって遠くて不便な県	25.2%	33.0%	
h. ハイテク産業の進出が著しい県	12.6%	54.3%	4.3%
i. 地場産業の豊富な県	23.0%	3.5%	
j. 歴史と文化には誇れるものがある県	20.0%	36.1%	2.6%
k. 進取の気性に富んだ県	3.5%	67.0%	
l. 人情味にあふれた県	9.1%	30.4%	
m. 具体的なイメージが希薄な県	32.2%	39.1%	

## 新しい「栃木県らしさ」を創ろう

郷土に対しての愛着はあるのだけれど、それを誇れるほどの自信につなげられない、もともとPRベタと言われる消極的な県民性も、これまで対外的なイメージづくりには災いしていたのではないだろうか。

「地方の時代」という言葉が叫ばれて久しく、各都道府県、市町村で、「むらづくり」「まちづくり」といった地域の活性化が図られ、それはまた、地域間競争、知恵くらべとも言われており、我がまちをいかにアピールするかという時代になっていきます。

今年、栃木県は「イメージアップ元年」を宣言し、誰もが誇りに思え、自信を持って県外にアピールできる「ふるさと栃木」を築こうと一歩一歩、歩み始めています。「とちぎプラス1」は、私たち県民一人ひとりが郷土の良さを知り、良さを付け加えて、県民どおし、さらに県外の人にもどんどん伝えて、新しい「栃木県像」を創造することを求めているのです。

味緑  
いっぱい秋

# 食と緑の博覧会イートピアとちぎ'88

会期：昭和63年 9月30日(金)～11月6日(日) (38日間)  
会場：JR宇都宮駅東地区



私達の生命の源——「食と緑」をテーマに全国初の博覧会。  
県内外から熱い期待が寄せられて、いよいよ、この秋開催いたします。  
よりドラマチックに、より多彩に——  
今、開幕にむけて多くの人々の英知を結集し、準備が着々と進められています。



## ■21世紀イートピア館 (テーマ館)

巨大なドームに最先端技術の映像、音響、レーザー光線等を駆使して、食と緑の未来や、食と健康との関わりを感動的にとらえます。

## ■なるほどとちぎ館

県内の市町村が一堂に、わがまちをPR。多彩な催して、とちぎの素晴らしさを再発見。



## ■前売入場券好評発売中!

海外旅行など豪華景品が当たる!

■抽選日/第1回：6月8日(水)  
第2回：9月29日(木)

## ■日中友好館

悠久の中国文物の展示と物産即売ゾーン。

## ■ドリームシアター

ファンタジックな立体映像が話題です。

## ■企業・団体出展館

生命の起源、母なる海の世界を魚たちが演出する水族館、そして神秘的な南極の氷に触れられるザ・さかな館。

話題の立体映像やさまざまな企業・団体が総力を挙げて英知を競う展示の数々。

## ■ワールドプラザ・グルメ街

世界各地の製品のショッピングやグルメが楽しみです。

## ■イベントホール

有名タレントによるショーなど楽しく多彩なイベントを連日くりひろげます。

## ■前売入場料金

一般1,000円(当日1,200円)/高校生 800円(当日1,000円)  
中学生 600円(当日 800円)/小学生 500円(当日700円)  
幼児 200円(当日 200円)

## ■前売入場券販売所

各市町村、デパート、スーパー、書店、レコード店、たばこ販売店、駅売店ほか。

## ■主催

食と緑の博覧会——とちぎ'88実行委員会  
☎0286-23-3913・3914

## 労働基準法が改正されました。

労使の話合いによって決められる「労働時間の短縮」を法的に補完するため、労働基準法の一部が改正されました。大きな柱は次のとおりです。

- 1) 週40時間労働制を目標に、業種、事業規模を勘案のうえ段階的に近づけること
- 2) 1カ月又は3カ月単位の変形労働時間制が採用できること
- 3) フレックスタイム制(自由勤務時間制)が採用できること
- 4) 年次有給休暇日数をふやし、またパートなどの年次有給休暇が明文化されたこと

我が国の年間総労働時間は、欧米に比べかなり長くなっています。働くことは尊いことですが、「働くために生きる人生」から「働くことも余暇も充実させて生きる人生」へと発想の転換をしてみたいかがでしょうか。

この機会に、もう一度働く時間と私達の生活について考えてみましょう。

お問い合わせは、各労政事務所又は労働基準監督署まで。

## 「かわいいお嫁さんだけど生まれがねえ…」



幸せにつつまれた二人を見ているとほほえましく思えてきます。

でも、こんな不愉快な言葉が聞こえてくるなんて……

人が人として認め合いお互いを大切にすることができたら

この世の中からすべての差別がなくなるにちがいないのです。

同和問題を身近な問題として正しく認識し、差別のない明るい社会を創っていきましょう。

## 集う森 声かけあって 火の始末



栃木県では、毎年約50ヘクタールの森林が、山火事により焼失しています。

山火事の出火原因のほとんどは、「たき火の不始末」「たばこの投げ捨て」などの不注意によるものです。

お互いに注意し合って、私たちの大切な財産である森林を一瞬にして灰にしてしまう、恐ろしい山火事を防止しましょう。

3月15日～21日  
栃木県山火事防止強調運動実施中

## 県政テレビ番組

### ウィークリー栃木

- 県の施策や各地のホットな話題をお茶の間にお届けしています。
- 番組をご覧になったの感想をお聞かせ下さい。(栃木県企画部広報課) ☎0286-23-2158

毎週土曜日 朝8:45～9:00  
テレビ東京 12チャンネル  
レポーター 高松しげお  
相馬 宏美



## 県政ラジオ番組 (栃木放送)

- 県民の窓 毎週日曜日～金曜日 午後0時15分～0時30分
- 県庁ダイアリー 毎週月曜日～土曜日 午前8時42分～8時47分
- 県政アラカルト 「知事さん こんにちは」 毎月第3日曜日 午前9時15分～9時45分



## あなたの声を県政に!

県に対する苦情・要望は各県民センターへ

- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 県北県民センター ☎02872-3-1555

※このほか上都賀、芳賀、安蘇、足利、塩谷、南那須の各庁舎にも、県民相談室が設置されています。お気軽におたずね下さい。